

第6章 基本構想

1 基本理念

上位計画の第2期庄原市長期総合計画では、「美しく輝く 里山共生都市～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～」を将来像に掲げ、実現に向けた保健・福祉・医療・介護分野の基本政策を「“あんしん”が実感できるまち」と設定しています。

上位計画との整合を図るため、第7期計画では、その基本政策を基本理念とします。

基本理念

“あんしん”が実感できるまち

今後、本市の高齢者人口は、微減傾向で推移する一方、高齢化率や後期高齢者人口、高齢者のみ世帯は上昇・増加が見込まれ、社会保障費の負担増のみならず、地域社会で高齢者を支える環境は、一層厳しくなることが予想されます。

こうした中であっても、住み慣れた地域で、安心としあわせを感じながら暮らしたいとの願いに応えるため、すべての市民を対象とした健康増進と介護予防の取組を強化するとともに、福祉・医療・介護の効果的な連携と市民協働の体制を構築します。

～第2期庄原市長期総合計画から抜粋～

2 基本目標

高齢者の誰もが“あんしん”を実感できるまちの実現

第7期計画においては、基本理念を踏まえ、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に共通する「基本目標」を「高齢者の誰もが“あんしん”を実感できるまちの実現」とします。

3 基本政策

第5章で整理した「今後取り組むべき主な課題」を踏まえ、次のとおり3つの基本政策を設定します。

基本政策1

健康寿命の延伸

高齢者が、健康で生きがいを持ち、活躍し続けられるよう、人と人とのつながりを大切にした住民主体の介護予防事業を推進するとともに、地域の多様な活動に積極的に参画できる場づくりなどを支援します。

基本政策2

自立と安心を支える地域づくり

高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、それぞれの心身の状況に応じて自立した生活ができるよう、地域包括支援センターの機能強化や在宅医療と介護の連携などに取り組みます。

また、高齢者が安心して生活できるよう、「地域での見守り」や「ちょっとした困りごと」に対応できる生活支援の充実のほか、認知症の人とその家族の支援体制づくり、高齢者の権利擁護、住まいの確保や生活環境の整備に努めます。

基本政策3

介護保険制度の健全化

支援・介護が必要な高齢者に適切なサービスが提供できるよう、対象高齢者の的確な把握、サービスの種類や量の点検など、引き続き適正な制度運用に努めます。

また、介護人材の確保と育成・定着に取り組むほか、家族介護者の負担軽減、在宅介護の支援についても検討します。

4 計画の体系

